

■特集「斜面对策施設の長寿命化と維持管理技術の最近の動向」の原稿募集

これまで、自然斜面、人工斜面（切土・盛土）を含め、地すべり対策工や斜面安定工施設の整備が全国各地で行われ、長期供用していくための維持管理が進められています。例年、研究発表会でも管理者、調査・設計・施工に携わる技術者から多数の取り組み事例の報告があります。本誌でも、過去に特集号として「地すべり防止施設の維持管理（第42巻1号）」、「斜面の維持管理における計測技術とデータ利活用（第55巻2号）」を企画し、施設の維持管理上の知見や実務者に有意義な技術情報等を提供してきました。近年では、老朽化した施設の長寿命化を見据えて、施設の補修や追加工事などの更新の業務も増えています。新工法の活用に加え、老朽化等の診断に画像処理や空間情報の処理・解析技術などの応用展開も期待されています。また、近年の豪雨災害の多発を背景に、気候変動の問題も施設の長寿命化を検討していく上で重要な課題と考えられます。そこで本誌では、「斜面对策施設の長寿命化と維持管理技術の最近の動向」の特集号を企画し、原稿を公募いたします。多くの会員からの積極的な投稿をお願いします。

○特集名：斜面对策施設の長寿命化と維持管理技術の最近の動向

英文：Technological progress regarding long-term operation and maintenance of landslide mitigation facilities

○公募原稿のテーマ例

- ① 各種の斜面对策施設の長寿命化に資する調査・対策工法に関する新技術
- ② 地下水排除工の機能低下・老朽化の調査や機能回復・補修に関する技術
- ③ 抑止工の健全性の調査・診断や補修に関する技術
- ④ 将来の気候変動を見据えての自然・人工斜面の長期安定性評価と対策工の計画
(※特定の製品・工法の宣伝あるいは中傷を目的とする原稿は受理できません。)

○募集原稿：論文，研究ノート，技術報告，総説

○発刊予定：第59巻6号（2022年11月末頃発行）

○投稿申込み：2021年12月15日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付

- ・申込みアドレス：post@landslide-soc.org
- ・メールの題名：特集号原稿申込（著者名）を記入
- ・申込み項目：題名，著者名，所属，連絡先住所，電話，メールアドレス，原稿種別，要旨（200字程度，添付ファイルとせず，本文に入れてください）

○原稿執筆

- ・執筆要項：学会誌第58巻4号または学会ホームページ掲載の執筆要領
- ・原稿締切：2022年4月15日
- ・原稿送付先：post@landslide-soc.org

なお、投稿いただいた原稿は通常号の原稿と同様に査読を行います。したがって、内容に

よって通常号への掲載をお願いし、または掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。